

教材・支援機器活用実践事例 【「時刻」と「時間」の概念の理解が困難な児童への指導】

	実施年度	平成30年度
授業について	教科名等	算 数
	単元・題材名	時刻と時間
	授業における教師のねらい	児童が時刻と時間の違いを視覚化し、「時間」の概念を理解できるようにする。
	授業における子どもの目標	「何時間」「何分間」の概念や、「何時間前（後）」「何分前（後）」の時刻を求めることができる。
子どもについて	学校・学級・学年	小学校 知的障がい特別支援学級 高学年
	対象の障がい	知的障がい
	授 業 の 形 態	少人数 一斉指導
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉だけの理解は難しい。 ・視覚的な教材提示をすることで理解がしやすい。
教材・支援機器活用	使用した支援機器 ・教材の名称	
	活用のねらい	時間を視覚化することにより、時間の概念を理解しやすくするとともに、練習問題に取り組むときに児童が操作活動をしながらかえることができるようにする。
授業における支援 ・教材の配慮	<p>○時間の経過を視覚化するために、文字盤中央に色画用紙を設置し、スライドさせると色が変わるようにした。</p> <p>○時間の長さを視覚化するために、テープを用意し、テープに5、10、15と分の長さを記載し、文字盤に合わせることである時刻からある時刻までの長さを捉えられるようにし、児童が操作しながら考えられるようにした。</p>	
子どもの変容や評価	担任の支援を受けながら長針や短針に合わせて数値を読み取ることで、「何時間前（後）」「何分前（後）」の時刻を求めることができるようになった。	